

# 第125回 岐阜市管内景況調査報告書(平成23年7~9月期)

## 【調査要領】

- 1 対象期間 平成23年7~9月、平成23年10~12月期の見通し(平成23年9月1日時点の調査)
- 2 調査方法 岐阜商工会議所経営支援員の実訪による
- 3 調査対象 岐阜市内の中小企業106社(回答数95社、回収率 89.6%)
- 4 D I 値 景気動向を現す景気早見表(「増加・好転」 - 「減少・悪化」)

## 管内景況の概要(業種全体)

今期(平成23年7~9月期)の管内中小企業の景況を見ると、すべてのDIのマイナス幅が縮小した。特に業況DIと売上額DIが改善し大幅にマイナス幅が減少した。

来期(平成23年10~12月期)の景況予想は、在庫判断DIと従業員DIのマイナス幅が拡大するが、他すべての項目のマイナス幅が縮小する見通し。

## 全業種

	(前年同期比)					
	業況判断	売上額	在庫	経常利益	資金繰り	従業員
22年 7~9実績	△ 58.1	△ 47.2	△ 48.1	△ 54.1	△ 38.3	△ 4.3
10~12実績	△ 59.8	△ 51.9	△ 42.3	△ 56.8	△ 43.4	△ 10.2
23年 1~3実績	△ 43.2	△ 51.8	△ 33.3	△ 51.9	△ 33.7	△ 13.4
4~6実績	△ 63.5	△ 65.9	△ 40.4	△ 64.9	△ 50.0	△ 3.0
7~9実績	△ 52.6	△ 50.6	△ 33.4	△ 59.3	△ 45.5	△ 1.5
23年 10~12予想	△ 46.6	△ 43.2	△ 41.2	△ 53.9	△ 41.0	△ 6.1

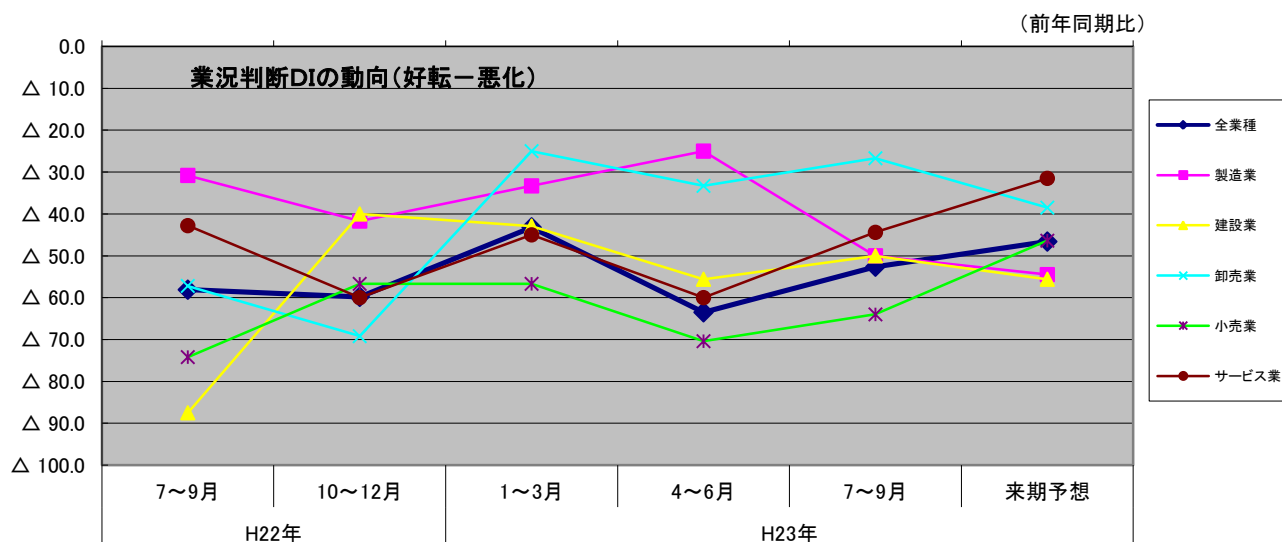
## 1. 業況

全業種のDI値は、△52.6と前期(△63.5)に比べると10.9ポイントマイナス幅が縮小し改善した。来期も、今期より改善すると予想される。

業種別にみると、製造業において大幅にマイナス幅が拡大し悪化した。その他の業種では改善した。

業況判断DI(「好転」-「悪化」) (前年同期比)

	H22年		H23年			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	来期予想
全業種	△ 58.1	△ 59.8	△ 43.2	△ 63.5	△ 52.6	△ 46.6
製造業	△ 30.8	△ 41.7	△ 33.3	△ 25.0	△ 50.0	△ 54.5
建設業	△ 87.5	△ 40.0	△ 42.9	△ 55.6	△ 50.0	△ 55.6
卸売業	△ 57.2	△ 69.2	△ 25.0	△ 33.3	△ 26.7	△ 38.5
小売業	△ 74.2	△ 56.7	△ 56.7	△ 70.4	△ 64.0	△ 46.4
サービス業	△ 42.8	△ 60.0	△ 45.0	△ 60.0	△ 44.4	△ 31.5



## 2. 売上(加工)額

全業種の DI 値は、△50.6と前期(△65.9)と15.3ポイントマイナス幅が縮小し改善した。来期も改善する見込み。

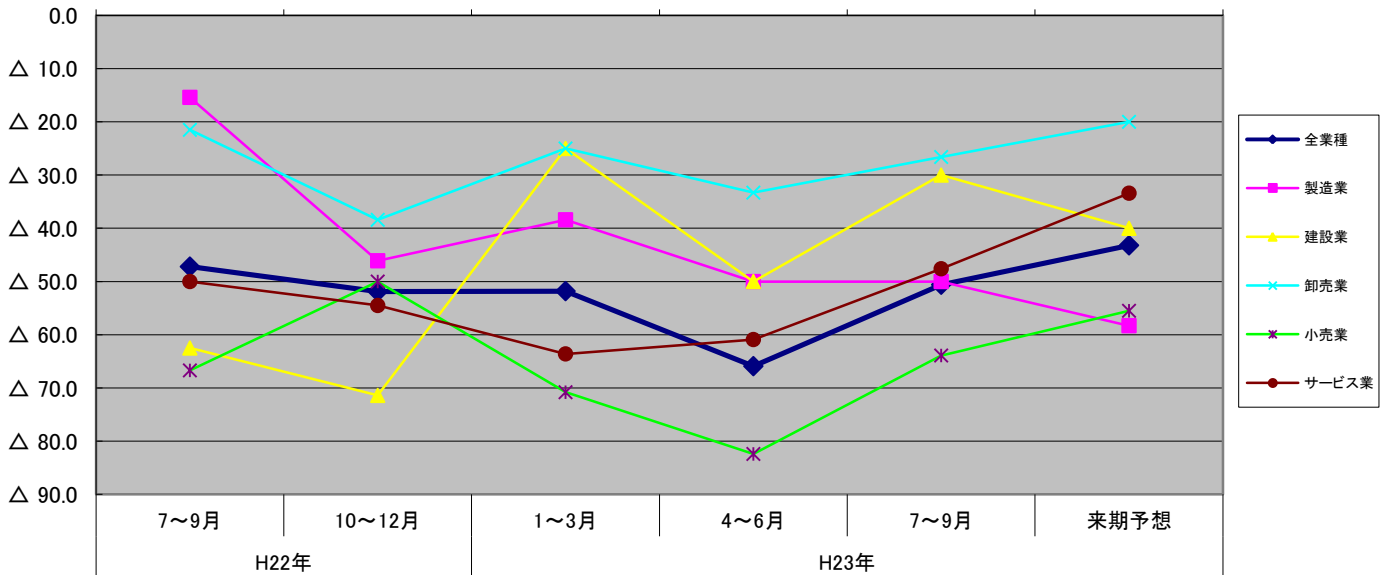
業種別では、製造業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小し改善した。来期は卸売業、小売業、サービス業が改善する見通し。

売上額DI(「増加」-「減少」) (前年同期比)

	H22年		H23年			来期予想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
全業種	△ 47.2	△ 51.9	△ 51.8	△ 65.9	△ 50.6	△ 43.2
製造業	△ 15.4	△ 46.1	△ 38.4	△ 50.0	△ 50.0	△ 58.3
建設業	△ 62.5	△ 71.4	△ 25.0	△ 50.0	△ 30.0	△ 40.0
卸売業	△ 21.5	△ 38.4	△ 25.0	△ 33.3	△ 26.6	△ 20.0
小売業	△ 66.7	△ 50.0	△ 70.8	△ 82.4	△ 63.9	△ 55.5
サービス業	△ 50.0	△ 54.5	△ 63.6	△ 60.9	△ 47.6	△ 33.4

売上額DIの動向(「増加」-「減少」)

(前年同期比)



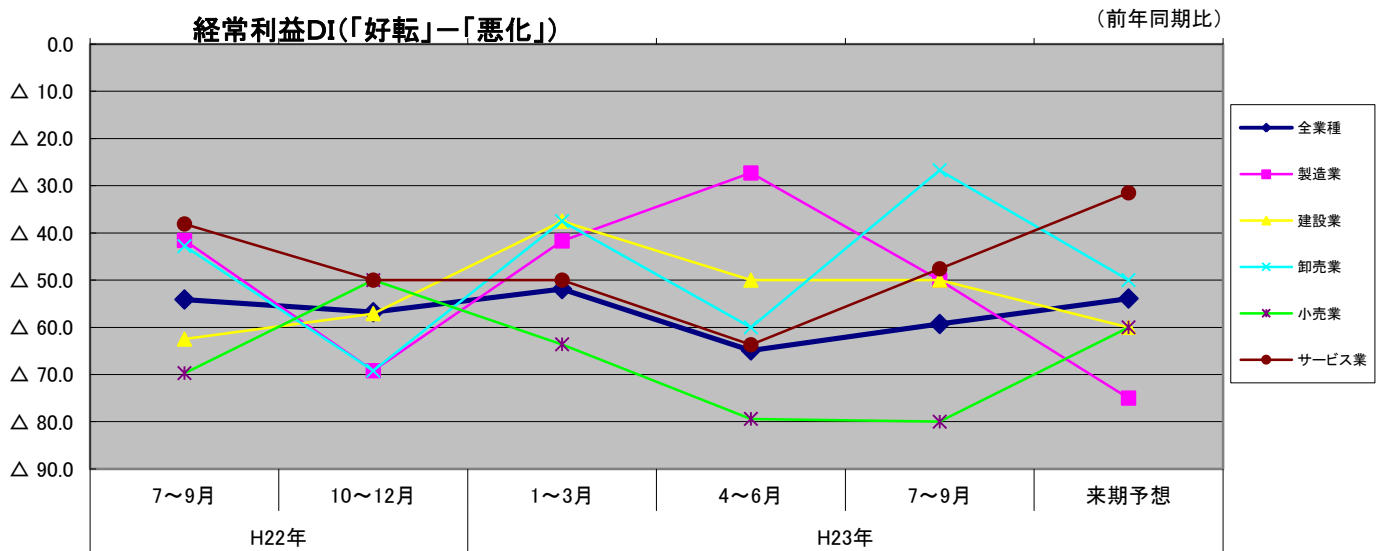
## 3. 採算(経常利益)

全業種の DI 値は、△59.3と前期(△64.9)に比べ5.6ポイントマイナス幅が縮小した。来期も引き続き改善すると予想される。

業種別では、卸売業の大幅な改善がみられた。一方、製造種はマイナス幅が拡大し悪化しており、来期も大幅に悪化する見通し。

経常利益DI(「好転」-「悪化」) (前年同期比)

	H22年		H23年			来期予想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
全業種	△ 54.1	△ 56.8	△ 51.9	△ 64.9	△ 59.3	△ 53.9
製造業	△ 41.6	△ 69.2	△ 41.7	△ 27.3	△ 50.0	△ 75.0
建設業	△ 62.5	△ 57.1	△ 37.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 60.0
卸売業	△ 42.8	△ 69.2	△ 37.5	△ 60.0	△ 26.7	△ 50.0
小売業	△ 69.7	△ 50.0	△ 63.6	△ 79.4	△ 80.0	△ 60.0
サービス業	△ 38.1	△ 50.0	△ 50.0	△ 63.7	△ 47.6	△ 31.5



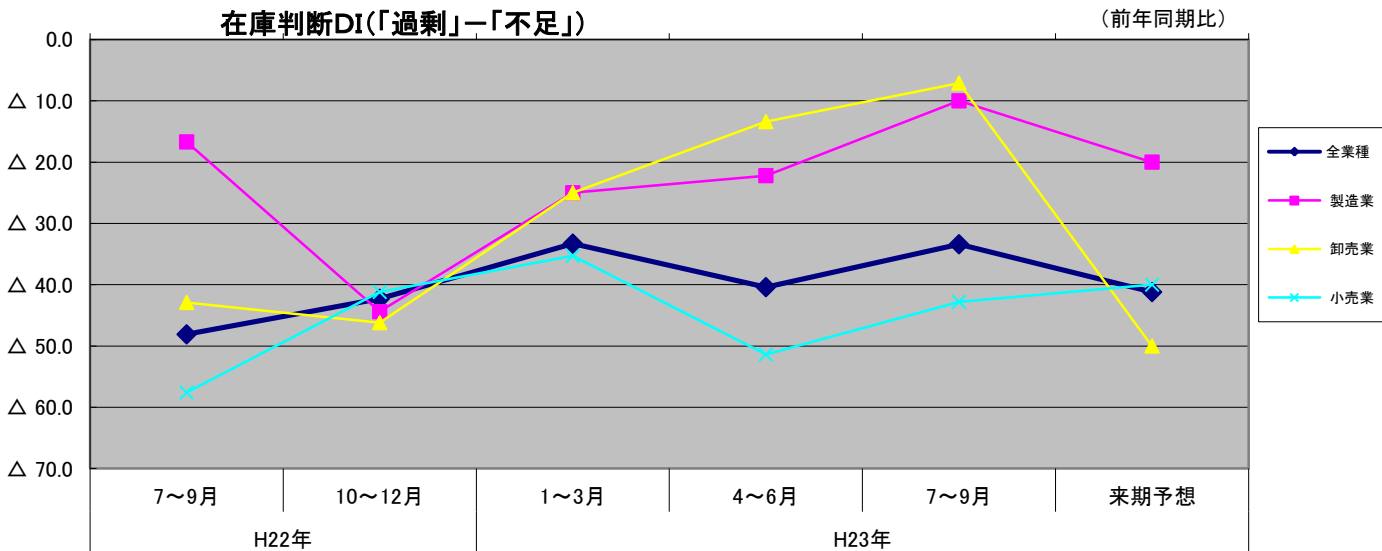
#### 4. 製品・商品の在庫

全業種の DI 値は、△33.4と前期(△40.4)に比べマイナス幅が7ポイント縮小した。来期は、今期よりマイナス幅が拡大すると予想される。

業種別では、全ての業種においてマイナス幅が縮小しているが、来期は卸売業のマイナス幅が大幅に拡大する見通し。

**在庫判断DI(「過剰」-「不足」)** (前年同期比)

	H22年		H23年			来期予想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
全業種	△48.1	△42.3	△33.3	△40.4	△33.4	△41.2
製造業	△16.7	△44.4	△25.0	△22.2	△10.0	△20.0
卸売業	△42.9	△46.2	△25.0	△13.4	△7.1	△50.0
小売業	△57.6	△41.2	△35.3	△51.4	△42.8	△40.0



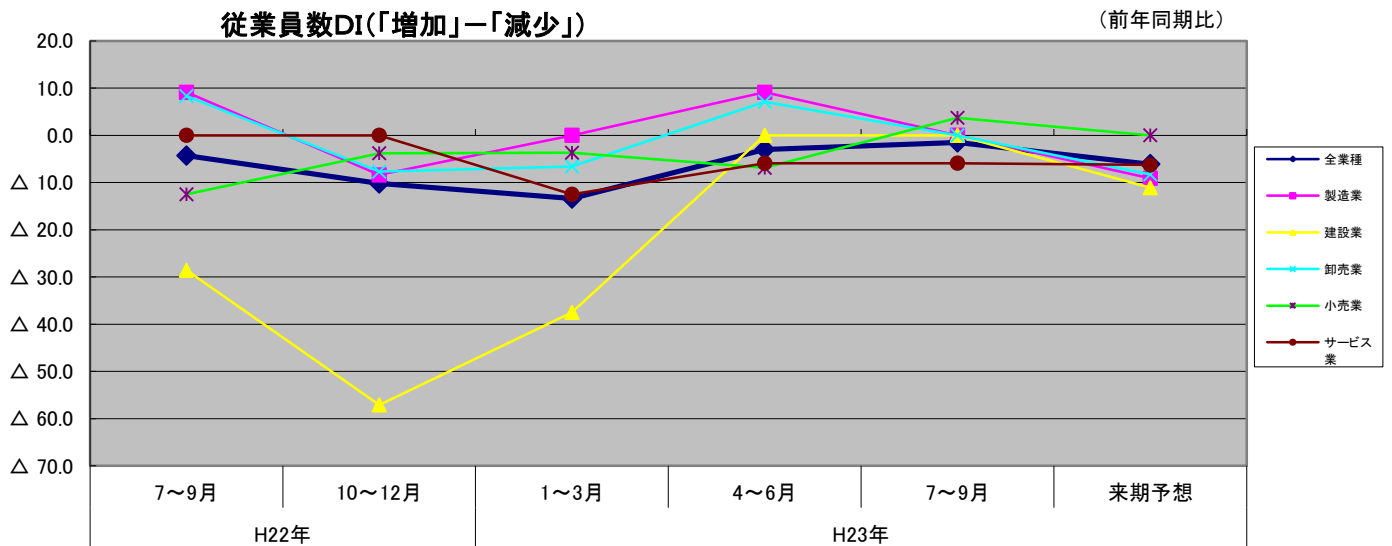
#### 5. 従業員数(臨時・パート含む)

全業種の DI 値は、△1.5と前期(△3.0)に比べプラス1.5ポイントとなり、減少幅が縮小した。

業種別では、製造業と卸売業で減少した。来期はすべての業種で減少する見通し。

**従業員数DI(「増加」-「減少」)** (前年同期比)

	H22年		H23年			来期予想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
全業種	△4.3	△10.2	△13.4	△3.0	△1.5	△6.1
製造業	9.1	△8.4	0.0	9.1	0.0	△9.1
建設業	△28.6	△57.1	△37.5	0.0	0.0	△11.1
卸売業	8.3	△7.7	△6.6	7.1	0.0	△8.3
小売業	△12.5	△3.8	△3.7	△6.9	3.7	0.0
サービス業	0.0	0.0	△12.5	△5.9	△5.9	△6.3



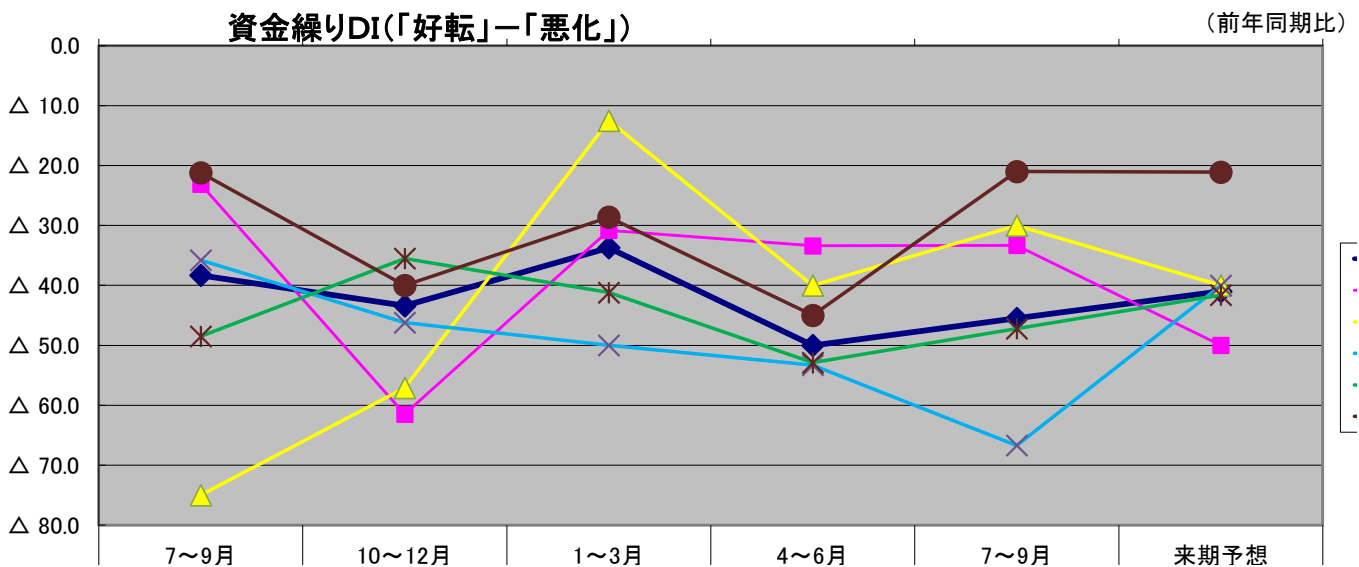
## 6. 資金繰り

全業種の DI 値は、△45.5と前期(△50.0)に比べ4.5ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別ではサービス業において大幅にマイナス幅が縮小し改善がみられた一方、卸売業では大幅に悪化したが、来期は改善する見通し。

**資金繰りDI(「好転」-「悪化」)** (前年同期比)

	H22年		H23年			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	来期予想
全業種	△38.3	△43.4	△33.7	△50.0	△45.5	△41.0
製造業	△23.1	△61.5	△30.8	△33.4	△33.3	△50.0
建設業	△75.0	△57.1	△12.5	△40.0	△30.0	△40.0
卸売業	△35.8	△46.2	△50.0	△53.3	△66.7	△40.0
小売業	△48.5	△35.5	△41.2	△52.9	△47.2	△41.6
サービス業	△21.2	△40.0	△28.6	△45.0	△21.0	△21.1



## 7. 経営上の問題点

前回調査で上位から外れた「需要の停滞」が再び全ての業種で上位に入っている。その他にも建設業、卸売業において、「請負単価の低下上昇難」「販売単価の低下上昇難」の問題が顕著になっている。これは震災後に発生した「サプライチェーンの寸断」や「代金回収の悪化」といった問題が改善されるとともに、震災以前に発生していた問題が再び表面化してきたものと推測される。また小売業、サービス業においては「需要の停滞」を抑え「ニーズの変化」が1位に挙げられている。顧客の要望に変化が起きており、今後中小企業経営者はその要望を的確に捉え柔軟に対応して、新たな需要を開拓することが求められる。

	今期直面している経営上の問題点				
	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
製造業	需要の停滞	製品単価の上昇難	製品ニーズの変化	生産設備の不足老朽化	大企業進出競争の激化
	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0
	14.3	0.0	23.8	23.8	0.0
建設業	請負単価の低下上昇難	材料価格の上昇	事業資金の借入難	民間需要の停滞	大企業進出競争の激化
	21.4	17.9	10.7	10.7	7.1
	0.0	6.9	0.0	17.2	17.2
卸売業	販売単価の低下上昇難	需要の停滞	仕入単価の上昇	メーカー進出競争の激化	商品在庫の過剰
	22.2	22.2	13.9	8.3	8.3
	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0
小売業	消費者ニーズの変化	需要の停滞	販売単価の低下上昇難	購買力他地域への流出	大企業進出競争の激化
	22.4	20.0	17.7	9.4	5.9
	4.5	9.0	15.7	11.2	6.7
サービス業	利用者ニーズの変化	需要の停滞	新規参入業者の増加	利用料金の低下上昇難	大企業進出競争の激化
	26.1	23.9	8.7	8.7	8.7
	23.4	19.2	17.0	10.6	6.4